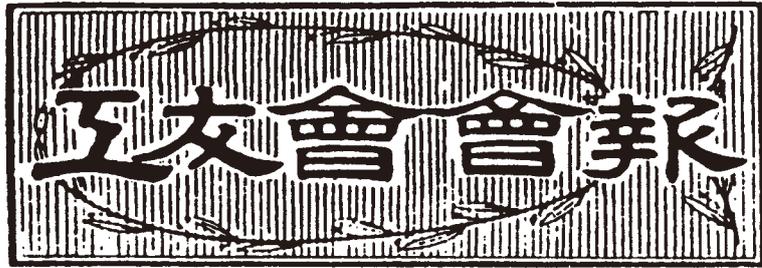


発行所
岡山県立岡山工業高等学校
工友会
岡山市北区伊福町4丁目3番92号
編集責任者: 万波 学
和気紀子
印刷 所: 株式会社サラト



ご意見、情報はこちらまで
TEL 086-252-5231
FAX 086-252-7130

十代の若者達



工友会会長
山内 静 男
(昭和36年土木科卒)

工友の皆様におかれましては、お元気で過ごしのこととお喜び申し上げます。

早いもので、私が会長をお受けして一年半が過ぎました。その間歴史と伝統のある工友会の代表として、各方面で活躍中の支部総会に出席させてもらいましたが、いずれの支部も活発に活動され母校の伝統をいつまでも守って貰えており心強くて頭が下がります。事務局長の万波先生はじめ事務局には何かから何までお世話をいただき本当に申し訳なく思っております。

昨年話題は、政権交代とエコに代表されそうです。チェンジ・チェンジ、アメリカに続きわが国も八月の衆議院選挙で民主党が圧勝し与党になって、自民党が野党に転落しました。小泉チルドレンと言われた新人議員から、今度は小沢レディース(ガールズ)の誕生でした。マニフェストに掲げた公約を守っている、いないで喧々諤々政界は賑やかです。

地球温暖化防止で二十五%カットを掲げ

た鳩山内閣が、エコカー減税やエコ家電などのエコポイント還元セールで、消費者の購買意欲をおおって景気が上向きになりつつあるとか、環境に関しても話題がいっぱいです。サミエル・ウルマンの詩の一節に「青春とは人生のある時期を言うのではなく心の様相を言うのだ。優れた想像力、逞しき意志、炎ゆる情熱、勇猛心、冒険心、こういう様相を青春というのだ。」とありますが、私には青春真つただ中という若さゆえの時期がありそうな気がしています。

その一例が、ゴルフの石川遼、体操の内村航平、水泳の入江陵介、アイススケートの浅田真央、私たちが在籍していた約五十年前には、今のような十代の若者の活躍はあまり記憶がありません。

ただ高校野球だけは特別でした。昨年のドラフトで六チームが指名し西武が獲得した菊池雄星は、テレビや新聞でにぎやかでした。岡山には星野仙一、平松政次、松岡弘、森安敏明、川相昌弘：大勢います。

母校にも毎年国体や全国大会で立派な成績を残すなど、優秀な成績を収める在校生が体育系のみならず文化系においても情報技術の発表など素晴らしく、新聞紙上で岡工生の活躍ぶりの記事を見るのが楽しみです。

又、体育祭や文化祭の様子も見せてもらいましたが、エネルギーな生徒の活躍はまさに青春、こちらもエネルギーを貰えるような気がしました。

十代にしてあの活躍は、持って生まれた才

能もありましようが、日頃の精進と健康管理が合致しての成果でしょう。またインタビューの受け答えも立派で感心します。昨年の工友会総会は、倉敷市役所支部さんのお世話で、七月十二日に岡山プラザホテルで開催され、工友約二〇〇人という大勢の参加のもと盛会裏に終了いたしました。

本年七月に予定しています二十二年度総会は、クラレ岡山支部さんのお世話で開催することに決まりました。年に一回の総会であり、旧交を温めながらの懇親会を合わすと約三時間余ではありますが、有意義な総会にしたいと思しますので、お誘い合わせご参加いただけますようお願いいたします。

また、親睦を深めるアイデアや、多くの工友が参加しやすいヒントなどがありましたら事務局までお知らせください。

まだ景気の先行きが定まらない長い不安定な時代が続いていますが、工友の皆様のご健康とご多幸さらなるご活躍、母校岡山工業高校の発展を祈念してご挨拶とします。



ご挨拶



校長 小林 清太郎

日ごとに膨らみを増す校庭の桜の蕾に、確かな春の訪れを感じる季節となりました。工友会会員の皆様方には、益々ご健勝でご活躍のことと心からお喜び申し上げます。皆様方には、平素から母校教育活動の振興・充実に深いご理解と、物心両面にわたり多大なご支援・ご協力を賜っており、ことに厚くお礼申し上げます。

さて、本誌面を拝借して学校の近況をご報告いたします。

生徒は将来の有為な工業人を目指して、日々「ものづくり」の基礎的・基本的な知識・技術・技能の習得に励んでいます。その成果の一端として、平成二十一年一月に高梁市で開催された「二〇〇九高校生テクノフォーラム」(県下の工業系高校で学ぶ高校生の研究成果発表会)において、本校の生徒が最優秀賞と優秀賞を獲得するという快挙を成し遂げました。最優秀賞を獲得した「小判君神社プロジェクト」は、地元の高橋町商店街との地域連携の取組であり、七科の生徒がそれぞれの学科で習得した技術・技能を結集して制作しました。作

品は奉還町商店街で活躍しています。また、優秀賞の「ボール盤の製作」は、機械科三年生が課題研究の授業で製作したもので、技術的に評価が高い作品です。実物は機械科に展示してありますので、母校を訪れた際にご高覧いただければ幸いです。

近年、力を入れて取り組んでいる技能検定については、普通旋盤三級に八名、機械保全(機械系保全作業)三級に二十一名、機械保全(電気系保全作業)三級に六名と、合計で三十五名の生徒が合格しました。また、十月のNHK「デジスタティーンズ二〇〇九」でデザイン科・田口さんのアニメーション作品がグランプリを、第五回全国高校生現代アートビエンナーレでも同じくデザイン科・鎌田君が大賞を受賞するなど活躍しました。第四十回機械製図検定試験では、機械科二年生の伊丹君が全国第一位の成績で特別表彰を受けました。

県教委主催の平成二十一年度高校生「エコ広場」UD整備事業には、建築科三年生の生徒が中心となって企画提案した「ラゲタイムパーク」が採用されました。一月に、電気科棟と土木・化学工学科棟の間に広場が整備されましたので、是非ともお立ち寄りいただきたいと思えます。この広場は、今後も生徒が課題研究や実習などの授業を通じて、引き続き整備していく予定にしておりますので、楽しみにしておいてください。

十一月末に岡工で開催したジャパンマイ

コンカリー中国地区大会では、団体戦で三年連続で第二位、個人戦では電気科の生徒二名が全国大会への出場を果たしました。また、全国の高校で初めて校内で半導体製作に成功した「ICRT人材育成プロジェクト」は、県内の半導体関連企業の支援を受けて平成二十年度以降も活動を継続しています。

部活動では、体育系二十部・文化系八部と十二の同好会に多くの生徒が所属して熱心に活動し、好成績を残しました。ここでは、中国大会の第一位と、全国大会への出場及び上位入賞状況について紹介させていただきます。

春の中国大会では、自転車競技部が学校対抗の部で十年連続第一位を達成した他、七種目で第一位となり、陸上競技部は三段跳の黒田君と八種競技の小林君が第一位に輝きました。

特筆すべきは自転車競技部の野上君で、六月のジュニアオリンピックカップ一〇〇mタイムトライアルで優勝するとともに、八月にモスクワで開催されたジュニア世界選手権大会に日本代表選手として出場し、自己新記録で第十八位の成績を収めました。

夏のインターハイ・全国大会には、自転車競技部六名、陸上競技部九名、弓道部六名、ボクシング部一名、少林寺拳法部十六名の計五部・三十八名が出場しました。また、全国高等学校総合文化祭に写真部の生

徒二名が出場しました。中でも、自転車競技部は総合成績第四位をはじめ六種目で入賞し、陸上競技部は二〇〇mで第八位に入賞、ボクシング部はライト級で第五位に入賞を果たすなど活躍しました。

国民体育大会には、自転車競技部三名、ボクシング部二名、陸上競技部二名の計三部から七名が出場し、自転車競技の少年男子一〇〇mタイムトライアルに出場した野上君の第一位をはじめ三種目で入賞、陸上競技部も四〇〇mで第五位入賞、ボクシング部はフライ級とライト級で第五位入賞という好成績を残しました。

また、少林寺拳法部の生徒四名が「二〇〇九少林寺拳法全国大会」に出場、陸上競技部の生徒が「第三回日本ユース陸上競技選手権大会」の二〇〇mと三段跳に出場するとともに、「第二十五回日本ジュニア陸上競技選手権大会」の四〇〇mで第八位に入賞しました。

このように、生徒はものづくりを中心とした学習や資格取得と部活動を両立させ、先輩方から引き継いだ文武両道の精神で「誠実勤勉」に努力を積み重ねており、学校は生き生きと活動する生徒の活気で溢れています。お近くにお越しの際には、是非とも母校にお立ち寄りいただき、在校生や教職員を激励していただければ幸いです。結びにあたり、工友会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

平成22年度 工友会総会に向けて

クラレ岡山支部 会長 大塚 克己(昭和48年化学工学科卒)

厳しい冬の寒さもようやく和らぎ、暖かな日差しに春の訪れを感じる季節となりました。工友会会員の皆様もご健勝のことと存じます。

この度、平成二十二年度の工友会総会を担当することになりましたクラレ岡山支部(会員数六十七名)は、(株)クラレ岡山事業所に勤務する岡工卒業生で組織しています。会社が化学製品メーカーという性質柄、化学・機械・土木・建築・電機・電子と工業デザイン科を除く全ての科の卒業生が居ます。また、製造業ということもあり、若手は三交替勤務に従事する者が多くいます。工友会総会を担当するに当たり、支部でも議論を行い工友会事務局とも相談をさせていただきお引き受けすることとなりました。

支部でも毎年岡工会(工友会支部名)総会を開催し会員相互の懇親を深めております。事業所内では関連企業・協力会社従業員を含めると約二、〇〇〇人が仕事に従事しており、日頃は交流を深めることが出来ておりません。また、近年では中途入社に従業員も増加する傾向にあり、個人情報保護を含め卒業生の確認が遅れ会員の確保が難しくなっています。支部としても各部署に配置している役員からの情報を参考に卒業生の入会促進を進めているところです。交友会総会はもちろんのこと支部総会を含め同窓生・先輩・後輩との懇親を深める機会になるよう努力して参りたいと思います。

工友会総会は平成二十二年七月十一日(第二日曜日)岡山蒲ラザホテルにて開催いたします。皆様お誘いあわせの上、多くの方々のご参加をお待ち申し上げます。

学校の様子



開校10周年記念碑と耐震工事を終えた2号館



機械科棟より見た校舎とグラウンド



体育館より見た1号館



中央廊下から見た情報技術科棟



工友会総会・懇親会 岡山プラザホテルにて

工友会総会を終えて

倉敷市役所支部

支部長 多田 望(昭和43年土木科卒)

立春とは名ばかりで寒い毎日が続いておられます。工友会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平成二十一年度工友会総会及び懇親会を平成二十一年七月十二日(日)岡山プラザホテルにおいて、当支部が担当させていただきました。

当日は蒸し暑い中一八六名のご出席をいただき、盛大に開催することができました。

お忙しい中ご出席していただきました会員の皆様、期末試験中にもかかわらず小林校長をはじめ、来賓の先生方にはご出席していただきありがとうございます。何かと至らぬ所がありました。ご都合等によりご出席いただけませんでした。後日の総会にはできるかぎりの出席を賜りますようお願いいたします。

総会は山内工友会会長、小林校長のご挨拶で始まり、選出された磯島議長の進行により議事に入り、皆様のご協力により、全ての議事についてご審議をいただき、滞りなく終えることができました。

また、議事終了後、山内会長より叙勲受章者へのお祝いの品の贈呈及びご挨拶と、次期担当支部のクラレ岡山支部大塚克己支部長のご挨拶がありました。

叙勲受章者の皆様におかれましては、工友会員として、この榮譽に対し誇りに思います。本当におめでとうございました。総会終了後、同会場にて集合写真撮影の後、懇親会に移り、学校の紹介のDVDにて現在の母校の様子を見ていただきました。崎坂副会長指揮による出席者全員で校歌を斉唱して、盛況うちに解散しました。今回、工友会総会及び懇親会を担当させていただいたのですが、前回は一支部員として受付を担当し総会が終わったという感じでしたが、今回、支部長として会全体の責任をまかせられ準備して行く中で、試行錯誤の連続ではありましたが、学校事務局の先生、プラザホテルの方々、前回担当支部である荒木組支部の皆様、あじさい会の皆様のご協力により無事に終えることができました。これからも工友会の益々の発展と工友会全員の皆様のご健康、ご多幸を祈念いたしまして、お礼の挨拶とさせていただきます。



支部だより

● 関東支部 ●

理事
赤木 勤
(昭和30年工業化学科卒)

岡山工業工友会の皆様、お元気で各方面で御活躍のことと思います。

平成二十一年は激動の年になりました。昨年秋季米国発のリーマンショックで世界は百年に一度といわれる歴史的な大不況に見舞われています。

日本でも二十年末から正月にかけて東京日比谷公園では派遣労働者で契約打ち切りされた労働者の救済のため年越派遣村が誕生しました。

その後も格差社会、雇用状況は明るさは見えていません。

八月三十日実施された、衆議院選挙は今まで経験したことのない政権交代になり、鳩山首相は国連総会や、G20で日本の温室効果ガスの排出量を二〇二〇年までに一九九〇年比二十五%削減すると表明しました。

又日本は唯一の被曝国として米国、ロシアの核軍縮を訴えました。地球規模で

世界各国が人類の生存と核廃絶に向け日本が世界平和の発信元になるよう、次世代に夢を託しましょう。

さて関東支部の話題ですが、「ブルネル賞」を始め、ブルーリボン賞、ローレル賞等多くの賞を受賞し建築鉄道車両のデザインで全国的に活躍を続けて注目されている水戸岡鋭治氏(昭和41年デザイン科卒業。ドンデザイン研究所代表取締役)の講演が十一月十三日、日本鉄道技術協会主催で実施されました。

デザインは公共のためにをテーマに、常識(ルール)良識(モラル・マナー)、美意識(ホスピタリティ)を中心思想の一つにして、美しく、優しく、分かりやすく、使いやすく、楽しい公共装置を目指し、九州新幹線に金箔を用いるなど、



関東支部

これまでの考え方を一新したデザインです。氏の豊かな発想を今後も期待します。

悲報ではありますが、元関東支部長、東京工業大学名誉教授、中原二郎氏(昭和16年機械科卒業)が本年九月逝去されました。材料力学の権威者で永年学界、技術教育の育成の貢献が認められ平成十五年十一月、政府より瑞宝中綬章が授与されました。退官後も国士舘大学、工学部教授を歴任されました。行年八十三才でした。心より御冥福をお祈りします。

今関東支部は会員の価値観、ニーズの多様化に対応しどのような総会にすべきか試行錯誤をしています。お互い岡山をふる里にして現在の岡山工業高校を母校としていることは共通で、経歴、年代を越え参加できる場を求めて行きます。

(二〇〇九年十一月)



● 大阪支部 ●
(岡友会)
事務局長
高橋 紀 二
(昭和33年工業化学科卒)

工友会会員の皆様には、ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

平成二十一年度第二十九回岡友会(工友会大阪支部)総会が十月二十四日(土)

十二時より大阪西梅田「大阪ガーデンシテイクラブ」にて開催されました。約三十名の方がご参集され、久しぶりの再会を楽しんでおられました。

総会には、ご多忙の中ご来賓として工友会山内会長、母校砂川教頭先生、工友会事務局長の万波先生、岡山県大阪事務所所長高橋様にご出席を頂きました。

総会は佐藤岡友会会長(土木科昭和三十二年卒)より、「関西地区で頑張っている会員諸兄の交流・懇親の場として岡友会活動を続けて行きたいと考えています。」との挨拶で始まりました。

山内会長からは、去る七月に工友会総会が「倉敷市役所」支部の担当で盛大に開催され、地元での工友会会員の活躍が紹介されました。

砂川教頭先生より、先生方、学生諸君がインフルエンザにも負けずに学校行事、勉学に頑張り、すばらしい成果を出しているお話をまじえてのご報告とご挨拶を頂きました。

万波先生(事務局長)より、「本部工友会会報の充実を図るため、工友会名簿(二〇〇九年版)の発行」を行ったが、反面で悪徳業者による新聞への工友会会員の広告勧誘があり、各員で注意して欲しいとの報告とともに学校行事等がスクリーン上に写し出され鑑賞致しました。

高橋岡山県大阪事務所長より、大阪市中央区に岡山県大阪事務所があり岡山県の発展を期して関西方面で活動している。何かと相談事があれば気楽に立ち寄って頂きたいとお話を頂きました。



岡友会総会（大阪支部） 大阪ガーデンシティクラブにて

総会開始前に幹事会が開催され、取り組み事項、前年の反省等の原案が話し合われ、総会に諮られます。

「議事」に入り、岡友会事務局より会員動静等の事務報告、続いて会計収支報告、会計監査報告がなされ、懇親ゴルフ大会、総会会場の選択、会員動向等の報告内容が承認されました。

無事に総会を終え、山崎前副会長の乾杯の音頭で懇親会に入り、会では還暦を迎えられた会員に、杯を贈ることになっており、今年も贈呈されました。

毎年のことながら、卒業年次、科別の



機械科棟裏の桜

違いはありますが同窓のよしみで、ご来賓の山内会長を囲み、家族、仕事、趣味、想い出話等に花が咲き、お昼の一時を楽しく過ごしました。

時が過ぎ、岡工校歌「東天燃える紅の...」のDVD伴奏入り（化学科昭和二十九年卒田中満穂氏作成）で意気軒昂に歌いあげ、お互い健康には十分留意して来年の再会を約し散会となりました。第二十九回岡友会（工友会大阪支部）総会が無事終了したことを支部報告と致します。



工友会広島支部総会 ホテルセンチュリー 21広島にて

工友会会員の皆様にはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。平成二十一年度の支部総会は六月六日（土）十一時より「ホテルセンチュリー



● 広島支部 ●

支部長
服部 芳弘
(昭和29年土木科卒)

21広島」にて開催されました。総会にはご来賓として山内工友会会長、万波事務局長、母校より小林校長のご臨席を賜り支部会員十三名が出席し開会いたしました。

総会では、ご来臨の皆様から工友会の活動や他支部の状況、母校の近況特にスポーツにおける活躍や地域への貢献等、後輩の活躍に支部会員一同にとつて大変頼もしく思いました。事務局より会員名簿他のお知らせやご案内のご挨拶をいただきました。

議事に入り平成二十年度の事業報告と会計報告、会計監査報告が承認されました。続いて平成二十一年度の事業計画と予算計画を審議し承認されて総会を終りました。

その後、懇親会に移り河原克平顧問（昭和十三年土木科卒）による乾杯の音頭で始まりご来賓や会員のスピーチや余興で和やかなひと時を過ぎ来年の再会を約し閉会いたしました。

その他、支部行事としては新年会を二月に十五名、夏期親睦会を八月十名参加し開催いたしました。ゴルフ仲間での「岡広会」は四月から十二月まで毎月第二木曜日を実施し親睦を図っています。今年度の取切戦は十一月十二日に開催し、恩藤孝彦氏（昭和三十七年土木科卒）が優勝されました。支部会員皆様のご参加をお待ちいたしております。

最後に工友会会員のご健勝と母校のご繁栄をお祈り申し上げます。広島支部だよりといたします。



女性支部(あじさいの会)総会 岡山駅前みよしのにて

工友会会員の皆様には、ご健勝にて活躍のこととお慶び申し上げます。
女性支部(あじさいの会)は第二十二回総会を、平成二十二年六月十四日に岡



● **女性支部** ●
(あじさいの会)
支部長
鳥越 隼
(昭和33年工業化学科卒)

山駅前みよしのに於て開催しました。工友会より武市顧問、崎坂副会長、母校より万波先生のご臨席を賜り、出席十六名となりました。総会では、平成二十年度事業報告および会計報告、役員全員の留任と新たに加藤馨子さんの理事選任が、全会一致で承認されました。また、女性卒業生全員(千五百余名)へ、支部の紹介と入会をお願いする事業の進め方についても熱心に討議が行われました。五月に、昭和六十三年卒までの二三二名について試行したところ、十三名のご入会があり、一名の方がご出席下さっていることが報告されました。これは支部にとって画期的なことで、共々に喜び歓迎いた



岡工祭 あじさいの会での作品展示

しました。今後の活動に大きな励ましが与えられた思いで、残る千二百余名についても、本年度中に実施することが決定いたしました。
紫陽花に囲まれての懇親会では、お食事を共にしながら、新入会の方、大阪・神戸よりご出席の三名の方はじめ全員が、自己紹介・近況報告など、和やかに親しく交流を深めることができました。
例年の如く、七月十二日の工友会総会には六名の出席、十一月十四日の岡工祭では皆様にご協力頂き、卒業生の作品展を行いました。
会報第三号を、十月一日に発行しました。今回も十名の方が寄稿して下さい、楽しい会報となりました。女性支部会員のご住所は、北は埼玉県から南は沖縄まで全国に亘りますので、顔を合わせて語らうことは困難でございます。この会報を通じて気楽におしゃべりし、お互いに

お顔の見える存在になり、岡工に連なる女性の絆が深まることを願っております。女性卒業生の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



叙勲受章者

本年度春

瑞宝単光章

小林茂寿

昭和20年
機械科卒

長年のご功績に対する栄えあるご受勲、心よりお祝い申し上げます。

平成22年度工友会総会の案内

担当支部 クラレ岡山支部

支部長 大塚 克己

日 時 平成22年7月11日(日)10時より

場 所 岡山プラザホテル

電 話 086-272-1201



「工友会会報協力金」ご協力のお願い

早春の候、工友会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

工友会会報第51号が出来上がりましたので、お届けいたします。

平成18年度より、全ての会員の皆様に送付させていただいており、母校の現在の様子をお知り置きいただくと共に、会報が工友会の更なる活性化と皆様方の交流の場として役立つことを祈っております。

さて、工友会会報の発行をはじめとする本会の事業は、皆様方からの賛助会費や協力金によって成り立っております。これからも全員の皆様に工友会会報をお届けし、内容を充実させるためには、皆様方の温かいご支援とご協力が不可欠であり、ご厚志を賜りたくお願いする次第でございます。

つきましては、何卒趣旨をご賢察の上、同封の振込用紙にて「工友会会報発行協力金」(2,000円)の振込みにご協力いただきますようお願い申し上げます。

岡山県立岡山工業高等学校工友会会長 山内静男

工友会会報決算報告

平成21年度

発送数……………17,526件

入金件数……………1,015件

入金額……………2,186,800円

※会報発送事業も四年目を迎えています。紙面の内容も110周年に向けて充実を図る努力をしています。今年度は、協力入金件数も減ってしまうなど、新名簿の賛助金の協力や名簿購入に伴う振り込み用紙と会報の協力金の振り込み用紙とで混乱をまねきました。申し訳ありませんでした。皆様の温かいご支援で、この事業に関わるすべての経費をまかなうようにしています。今後も、会報協力金のご協力をお願いします。

工友会事務局



百周年にむけて

◆岡工創立百周年にむけて

一九〇一年(明治三十四年)創立した岡山工業高校は、二〇一一年(平成二十三年)に創立百周年となります。

今回の51号ならびに52号と百周年への特集の記事を載せていきたいと思えます。今回の51号で、五十七・七十周年の関係写真掲載します。次号52号で、八十九・百周年の関係写真を掲載します。

現在、ホームルーム棟の二年間の耐震工事が終了して、本来の落ち着いた環境の中で勉学と部活動に励んでいます。また、電気科棟と化工・土木科棟の間に今年度『高校生「エコ広場」UD(ユニバーサルデザイン)整備事業』において本校の生徒達が自ら企画・立案をし県に採択された「ラグタイムパーク」(憩いのエコ広場)が完成し休憩時間や放課後など生徒達が集う新しい場所ができています。

学校の現在の様子ならびに、この特集ページをご覧頂き、この会報を囲んで級友の方々と母校を懐かしく思い、ご歓談をして頂ければ幸いです。



岡工正門付近(2009年)

岡工の歴史

— 岡工開校から統合まで —

1901(明34)
岡山県立工業学校設置



開校～1945年までの校舎

1914(大3)
岡山市立岡山工芸学校設立



開校～1926年までの校舎

1911(明44)
開校10周年記念



開校10周年記念碑

1926(大15)
岡山市東古松の新校舎に移転



岡山工芸学校
1926年～1960年までの校舎

1944(昭19)
岡山県第一工業学校(県工)と校名変更

1944(昭19)
岡山市第一工業学校(市工)と校名変更

1949(昭24)
県工と市工が統合「岡山県立岡山西高等学校」



西高 南方校舎 西高 東古松校舎
両校の統合を記念して、県工の歯車と市工の桜の花を合わせた新しい校章と校旗が作られ、校歌「東天燃ゆる」も発表されました。

1951(昭26)
50周年記念

1953(昭28)
岡山県立岡山工業高等学校と校名変更

1961(昭36)
60周年記念



1号館前に設置された統合記念碑
題字は吉田三郎学校長(当時)筆

1971(昭46)
70周年記念

八十周年以降は52号で紹介させていただきます。



50周年の時は校名を「岡山西高等学校」といい、南方校舎と東古松校舎に分かれていました。(南方校舎)



50周年記念式典(東古松校舎)



前年の1960年に校舎が統合し、伊福町新校舎での「統合新校舎落成/創立60周年記念式典」となりました。



60周年記念式典・統合新校舎落成



70周年記念体育祭でのマスゲーム



70周年記念式典

五十周年
一九五一年

六十周年
一九六一年

七十周年
一九七一年

平成21年 校内行事



3月 卒業式・工友会入会式

平成二十一年三月一日（日）、岡山工業高校の第六十回卒業証書授与式が体育館で挙行されました。そして、二六八名の卒業生が希望に胸をふくらませながら、三年間の思い出の詰まった学び舎から巣立ちました。

卒業生は、ご来賓・保護者・教職員・在校生に見守られる中、少し緊張した面持ちでクラス担任に先導されて会場に入場し、十時に卒業証書授与式が厳かに始まりました。

卒業証書授与では、化学工学科三年 神原君が生徒を代表して小林校長から卒業証書を授与され



第60回卒業証書授与式

4月 入学式



入学式
小林校長による式辞

ました。
小林校長は式辞の中で、『他人の立場に立つて考えられる人』『自らの考えをしつかり持ち、強い信念に基づいて行動し、社会をたくましく生き抜く人』『一人ひとりが、自らの夢を持ち、その実現に向けて、継続的に努力する人』になってほしいと、饒別の言葉を贈りました。

在校生を代表して、土木工学科二年 水田君が、学校行事や部活動などを通じた卒業生との思い出を振り返りながら、『先輩達から多くのことを学ばせていただきました。先輩達の培った伝統を責任を持って受け継ぎ、岡工の発展のために最大限の努力をすることを誓います。』と、送辞を述べました。

晴れ渡った青空の下、桜の花が満開となった四月九日（木）に、平成二十一年度岡山工業高校入学式が盛大に挙行されました。真新しい制服に身を包んだ二八〇名の新入生は、まず教室でクラス担任から日程の説明を受けました。それから担任に先導されて体育館に向かい、ご来賓・保護者・教職員に見守られながら吹奏楽の演奏と共に、やや緊張した表情で入場しました。

『歓迎の言葉』
では、生徒会長の水田君が、『皆さんは今、期待と不安の気持ちが入り混じっていると思います。私も、二年前さまたま不安を抱いていましたが、今、この場に立ち、岡工に入学して本



入学式後オリエンテーション

当に良かったと断言できます。岡工にはさまざまな学校行事があり、皆さんと一緒に生活できることをうれしく思います。岡工の誇りを持ち、三年間、有意義に過ごせるようにしましょう。』と歓迎の言葉を送りました。

一年生集団宿泊研修（玉野）

岡山工業高校の新入生は、入学後まだ間もない四月二十日（月）・二十一日（火）に、集団生活を通して高校生活に早期適応し有意義な学校生活を



【目的】

- 1. 集団生活を通して自律心を養い、自主的に集団の規律や秩序を守る態度を育てる。
- 2. 宿泊や共同活動を通して、生徒相互間、及び教師と生徒間の親睦を深め、お互いに信頼できる集団づくりを進める。
- 3. 各種のオリエンテーション・学習を通して、岡工生としての自覚を持ち、高校生活への早期適応を図る。

5月 校内球技大会

青く澄み渡った五月晴れの下、岡山工業高校の平成二十一年度球技大会が実施されました。昼過ぎには気温が上昇し三十度になりましたが、それを上回る熱気あふれるプレーや応援が随所で見られました。

種目はソフトボール（男子学年別）、バレーボール（男子学年別・女子全学年）、卓球（男女混合全学年）、ドッジボール（男子学年別・女子全学年）の四種目で、グラウンド、体育館、小体育館、ハンド・テニスコートをそれぞれ会場として行われました。



ドッジボール

ソフトボール



参加団体

- 生徒会執行部
- 文化委員
- 選挙管理委員
- 図書委員
- 美術部 吹奏楽部
- 写真部 漫画研究同好会
- マイコン同好会
- 建築研究同好会 演劇部
- 書道同好会 模型同好会
- 科学同好会
- 機械研究同好会
- 化学工学同好会
- 電気研究同好会



吹奏楽部による演奏

文化部・同好会・委員会による日常活動の成果を発表する「発輝祭」が、六月八日(月)から本校で始まりました。以前は「小文化祭」という名称で実施されていましたが、名称の公募が行われ、「発輝」の音にもじった「発輝祭」が採用されてから今年で三年目を迎えます。

「発輝祭」の主催は生徒会執行部で、文化部・同好会・委員会が協賛する形で、それぞれの展示・発表を二週間に渡って公開することで、全校生徒に活動内容を知ってもらい、相互の交流を図ることが趣旨です。

開催期間が保護者懇談の期間と重なっていることもあり、多くの保護者にも見学していただいています。

6月
発輝祭



機械科



土木科



化学工学科



デザイン科



建築科



情報科



電気科

8月
オープンスクール

岡山工業高校の平成二十一年度オープンスクールは教室棟の耐震工事のために、昨年度と同様、中学三年生のみを対象にして、八月六日(木)・七日(金)の二日間で実施しました。

10月
二年生修学旅行

二年生学年通信より

『修学旅行終わる』十月十三・十四・十五・十六日今年度から従来とは違い、クラスを解体して生徒たちの希望を叶えるためにコース制を導入した修学旅行になりました。生徒の把握・業者との打ち合わせなど、色々な面で学年団の先生も苦労がありました。各コースとも何名かの生徒の発熱・体調不良などがあったようですが、無事全行程を変更することなく実施できたことは何よりでした。単なる観光で終わるのではなく、それぞれが色々な場面で、学校ではできない学習ができたのではないのでしょうか。

(学年主任 繁 幹也)

■修学旅行 一行感想

北海道方面

- ・北海道、どこもかしこもでつかいどう。
- ・北海道なめたらあかん移動距離。

沖縄方面

- ・とかしき島の海がとてもきれいで魚がたくさんいたので感動しました。

関東方面

- ・楽しかったが団体行動という勉強もしました。
- ・都会の厳しさと楽しさを学ぶことができました。

北海道方面 (96名)

- 第1日目
学校→アイヌ民族博物館→登別クマ牧場→登別温泉のホテル
- 第2日目
・Aコース：昭和新山・有珠山→サイロ展望台→ニセコ体験(ラフティング/カヌー)
・Bコース：旭川ラーメン村→旭山動物園→サッポロファクトリー
- 第3日目
自主研修
- 第4日目
羊ヶ丘展望台・北海道開拓村→北海道まるごと市場→学校着



沖縄方面(第2日目・コース別体験) 渡嘉敷島マリンスポーツ体験

沖縄方面 (115名)

- 第1日目
学校→コース別研修(おきなわワールド/ひめゆり資料館他)→渡嘉敷島港→ホテル
- 第2日目
コース別体験学習
(マリンスポーツ/インドア体験/島内観光/遊泳など)
- 第3日目
万座毛→国営沖縄記念公園
- 第4日目
那覇市内班別自主研修→学校着



北海道方面(第2日目・Aコース) サイロ展望台

体育祭



関東方面（第2日目・コース別） ANA機体工場

昨年と同様に、今年も雨によるグラウンド不良のため一日順延になりましたが、第六十回体育祭（岡山工業高校）が、平成二十二年十月二十八日（水）に開催されました。今年も、例年よりも三週間程遅い時期の実施でしたが、快晴に恵まれ、秋空の下、絶好の体育祭日和になりました。多くの来賓・保護者のご観覧をいただき、ありがとうございました。若さ溢れる競技や堂々とした行進、各専門科が

関東方面（64名）

- 第1日目
岡山駅→希望別選択コース
（ラフティング体験/フィッシングorインドア体験）
→河口湖のホテル
- 第2日目
コース別
（富士山五合目・芦ノ湖/東京タワー・ANA機体工場）
→横浜散策→ルミネtheよしもと
- 第3日目
都内班別自主研修
- 第4日目
浅草or上野→お台場観光→岡山駅

11月

岡工祭



成績発表

六月下旬から準備が始まった第六十回岡工祭が、十一月十三日（金）・十四日（土）の二日間に実施されました。



体育委員長による選手宣誓

団結して取り組んだ応援合戦、そして体育祭に華を添えるデコレーション等盛りだくさんの内容がありました。生徒にとっては、一生の思い出になる一日だったと思います。

12月

生徒会新旧交代式



デザイン科3年模擬店「チェロス」

十二月二十四日（木）、二学期終業式の前に生徒会新旧交代式が行われました。旧生徒会執行部の役員は、八三二名の代表として先頭に立ち、この一年間、岡工発展のため多大な貢献を果たしま

今年の岡工祭は、開催前に新型インフルエンザの流行による学級閉鎖が相次いだため、準備スケジュールが大幅に狂った団体もありました。また、オープニングセレモニーを時間短縮したり、閉会行事を放送で行うことを余儀なくされました。しかし、「天地創造」をテーマ、「悠久不変の工の心」をサブテーマに、全員で力を出し合って工夫を凝らした創作活動を行い岡工祭を成功裡に終わらせることができました。例年同様、多くの方（一、四三六）が見学のために岡工に足を運んでいただきまし



新旧生徒会三役
[旧生徒会役員] 水田、光岡、沖田（左）
[新生徒会役員] 麻原、川末、廣政（右）

した。ご苦労様でした。水田生徒会長は「生徒会に入ってから実に多くのことを学びましたが、敬語を使うのが当たり前の日々であったので、社会に出て役立つ「敬語」も自然に習得することができました」という感想を述べました。既に、第六十一期生徒会選挙（十一月二十五日実施済み）で、生徒会長一名・生徒副会長二名の生徒会新執行部の当選が決まっていますが、この日の生徒会新旧交代式で正式に小林校長より認証されました。

生徒会新役員とそれぞれの抱負をご紹介します。

◎生徒会長

化学工学科2年 麻原 侑貴（アサハラ ユウキ）

『アフリカの貧困層の人達にワクチンを贈り、岡工が世界で役に立つことをしたいと思っています』

◎生徒会副会長

情報技術科2年 川末 剛（カワスエ ツヨシ）

『前生徒会副会長の光岡先輩の「アイスクリームの販売機の設置」という意志を受け継ぎ、一生懸命がんばります』

◎生徒会副会長

電気科1年 廣政 和也（ヒロマサ カズヤ）

『部活動の奨励に力を尽くし、部活動がより盛り上がる学校にしたいです』

同窓会便り

同窓会



昭和三十年工業化学科卒業の同窓会を開催(十一月二十日)いたしました。馬場氏(不動産業)・畑中氏(司法書士、行政書士)・上野氏、三氏のお世話で四年ぶりの再会です。卒業後半世紀が過ぎました。島なみの美しい児島ホテルで一泊とまり、卒業後初めて会う人、遠路の参加者含め二十一名が参加しました。初めに司会者の提案で物故者十名の冥福を祈り一分間の黙とうをし以後懇親に移り、昔の高校生に返り時のたつのも忘れ語り明かし、以後健康で再会する事を約し、散会しました。

母校二〇一一年の百十周年記念事業が成功する事を祈念いたします。

昭和三十年工業化学科卒業 赤木 勤

還暦を迎え思いで残る字「金見」字「同窓会

今年還暦を迎える仲間と同窓会を計画中に、幹事の中から母校に集合し、校内の見学をしてみたいとの意見がで、工友会事務局長の万波先生に相談をし、快諾を得た事から物事が始まりました。

平成二十一年十月十一日(日曜日)同窓会当日、十五時に母校の正門に集合の案内を四十一名に郵送し、出席の返事を戴いた二十四名の内、何名の方々が、集合してくださるか楽しみでもあり、不安でもありましたが、二十一名の参加で、

個人個人の母校を思う気持ちが伝わり、幹事一同計画をした事に安堵いたしました。仲間たちは遠路、関東・関西・中国エリアや県内から五年ぶりに同窓会に駆けつけてくれました。

お迎えする幹事は、卒業以来初めてお会いする仲間も居り、人が近づく度に小さな声で〇〇君では等と話し、面影を頼りに出迎えました。余りの様変わりや名前を出さない方も居り、〇〇です、との挨拶で思い出すなど、出迎える間も楽しい一時でした。

正門に集合後、事務局長の万波先生にご案内戴き百周年記念館を見学、館内には、各学科に関する開校以来の色々な教材や、在校当時の航空写真等が展示してあり、懐かしく眺めながら、当時の思い出話に人の輪ができるなど、楽しい一時でした。

その後、三年生当時の教室を見学、それぞれが当時座っていたと思われる椅子に着席し、参加者全員で記念写真を撮影、その後電気実習室、工作室等、思い出のある各部屋を見学させて戴き、約一時間楽しく過ごさず事ができました。(万波先生、有難うございました)

見学終了後、学生時代を思い出しながら、当時通った思いでの道筋、奉還町商店街・岡山駅西口周辺等を散策しながら同窓会会場へ向いました。



会場受付では、電気科卒業生全員の名前を小さく廻りに配し、仲間たちに囲まれた中心に、一際大きく、個々の名前が赤い字で書かれた還暦同窓会に相応しい記念になる名札を受取る会場には、昭和四十三年時の十大ニュースや、卒業アルバムを拡大した写真等の展示もあり、思い出に浸る事ができました。

宴会は、若くして他界した仲間へ一分間の黙祷を捧げ始めました。

乾杯から始まり、当時の思い出話や仕事趣味・家族等の近況報告で盛り上がり、時間の経つのを忘れた至福の三時間でした。

残念な事は、恩師の方々が、高齢の為、出席して戴けなかつた事でしたが、返信用はがきに近況、教え子に対する気持ち等、お寄せ戴き披露できました事に感謝いたします。

宴も最終を迎え、全員で校歌斉唱を行い、五年後の再会を約束し閉会、その後、県外参加者を伴い二次会会場に出发、二次会では、カラオケで盛り上がり、酔った勢いで調子の外れた歌を唄う人・プロ並の歌唱力で熱唱する人等、大変楽しい思い出深い時を過ごしました。

深夜になり、次回の再会を楽しみに二次会を終了し散会しました。

昭和四十三年電気科卒業 兒子 薫

岡工での思い出 母校の旧職員



中 桐 上 雄
元 電子科・電気科教諭
現 笠岡工業高校勤務

工友会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、各界でのご活躍に對しまして、心から敬意と祝意を申し上げます。

私は、昭和五十三年四月から昭和五十六年三月まで電子科で、昭和六十一年四月から平成九年三月まで電気科で、非常勤講師を含め十四年間勤務させていただきました。

当時は七科十一クラス、一、三〇〇名を超える生徒数でした。平成三年度には東岡工との総合選抜が廃止されました。平成四年度には工業デザイン科がデザイン科に、平成五年度には電子科が情報技術科に、平成六年度からは、当時の新しい学習指導要領による、課題研究の導入や家庭科の男女共修、平成七年度には学校週五日制月二回実施等、平成の時代になり、それぞれの学校における魅力づくりが一層進められたように思います。

校訓「誠実勤勉」の下、生徒の皆さんの、学校行事での意欲・情熱、資格取得や部活動に熱心に取り組む姿に、さすが岡工の思いがしています。

特に印象に残っていることは、平成三年度、創立九十周年記念の岡工祭です。我が電気三年A組は、双胴船のヨット、「g0」の文字の電光掲示板、リニアモーターカーを製作し、矢部部先生や生徒とともに充実感・達成感を味わうことができました。蒸気機関車やアドバルーン、模擬店にも各科の特長を生かした工夫があり、まさに創造力と完成度の高さを感じました。また、部活動において、平成八年度、河口湖畔の周回コースで行われた全国高校総体自転車競技において、チームロードレースで十位に入賞したことです。大会前から試走をし、チームとして入賞できたことに、川口先生、生徒、保護者との底から喜びました。生徒の頑張りや改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

人生において、人との出会いはとても大切です。すばらしい校長先生を始め諸先生方や生徒の皆さんに助けられ、また、工友会、保護者や地域の皆さんにご支援をいただき、教員としてスタートした岡工で、極めて貴重で充実した期間を過ごすことができました。

終わりになりましたが、岡山工業高校ならびに工友会の益々の発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈りいたします。

岡工での思い出

平成12年化学工学科 神崎 倫典

岡工を卒業してはや十年。毎年、工友会報が家に届くたびに時の流れの早さを感じます。ただ、工友会報の卒業生の思い出を私が書くことになるとは思いませんでした。この話が私にまわってきたのは、最近始めたゴルフ場で、高校三年間担任だった先生と偶然出会ったことがきっかけで、書かせてもらうことになりました。

私が化学工学科を選んだ理由は、中学校のころから理数系が好きだったからです。

まず、岡工に入学してから二つの大きな目標を立てました。それは、三年間一日も休まず皆勤で学校に行くことともう一つは三年間部活動を続けることでした。学校まで遠かったですが、同じ中学出身の友達といつも一緒に通学をしていたので、楽しく三年間休まず通うことができました。また、部活動は親が卓球をしていたこともあり、卓球部へ入部しました。高校から始めたので、中学から始めた人比べれば、レベルの差を感じ、最初のころは試合でなかなか勝てませんでした。しかし、一試合でも勝てるように夏休みや冬休みも休むことなく練習に励みました。良い顧問の先生、仲間にも恵まれ三年間部活動を続けることができました。卓球部の仲間とは、十年経った今でも連絡を取り合い、飲みに行ったりし

ています。

私がいた化学工学科は、一クラスの科だったので三年間同じメンバーで過ごしました。三年間同じメンバーということもあり、楽しく日々過ごすことができました。特に、夜遅くまで準備のために学校に残り、クラス全員でとりくんだ岡工祭、体育祭が思い出に残っています。化学工学科は資格試験の授業も多く、危険物は全員合格を目指して、放課後も勉強し、先生方の熱心な指導のおかげもあり全員合格することができました。本当に先生方には感謝しています。

このように岡工での三年間は、今でも忘れることのない楽しい思い出いっぱいあります。最後になりましたが、お世話になった先生方に心よりお礼申し上げます。

第60期 生徒会長



水田 真広 土木科3年

私が生徒会長として生徒会執行部で過ごした一年間はとても早いものでありました。しかしこの一年間という短い間に私は多くのことを学び大きく成長することができました。この生徒会長という素晴らしい経験ができ、私は一生の思い出として一生の宝ができたと思っています。さて私が生徒会長に立候補したのは二

年生の冬でした。そして無事に当選したのですが、生徒会執行部の仲間と打ち解けることができず、なかなか話をするのができませんでした。しかしその気持ちを变えてくれたのは同じ土木科から副会長に当選した光岡君です。彼が明るい雰囲気にしてくれ話しやすいようにしてくれました。彼のおかげでようやく生徒会執行部の仲間とも打ち解けることができそうなことになりました。



夕食の準備（リーダー研修にて）

四月に行われた一泊二日のリーダー研修で私はこの仲間と一年間様々な行事を必ず成功させることができると確信しました。失敗することは多々ありましたが自分がやらなければならない仕事は最後まで下を向かずやり通すことができたからです。

球技会・体育祭・岡工祭、どの行事も大成功で終わることができました。実のところ岡工祭では私は不安でしたが楽しんでました。しかし、この不安な気持ちを消してくれたのも仲間でした。お互いが助け合いサポートをするといったチームワークが次第につくられ一丸となって本番を迎えることができました。この時は協力することの大切さを改めて感じることができました。

私は生徒会長に立候補して本当に良かったと思っています。生徒会長になったからこそ学べたということが一年間で多くありました。

これからの人生で必要なことも学べたと思います。本日までご指導してくださいました。私は、岡山県立岡山工業高等学校の生徒会長をやりとおせて、本当に幸せでした。

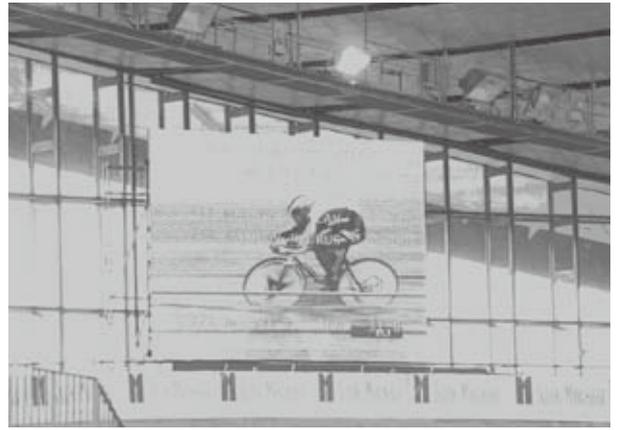


生徒会執行部（岡工祭後執行部室にて）

自転車競技部

土木科3年 野上 侑矢

八月のロシア連邦、モスクワ。八月だというのに、風が冷たく、半袖では少し寒い気候だった。周りでは、ロシア語が飛び交っており、看板なども、



ジュニア世界選手権大会

見たこともないような字が記されている。僕は、自転車競技の世界戦のためにロシアに来ていた。

六月に、ある全国大会があった。顧問の先生に、「この大会で優勝すれば、世界戦に出場できるだろう」と、笑いながら言われた。なぜ笑いながら言われたのかというと、これまでの全国大会で、優勝はおろか、三位以内にも入賞したことがなかったからだ。僕自身も、とりあえず三位以内に入ることを目標にしていた。ところが、僕はこの大会で優勝した。顧問の先生が言ったことが本物になり、僕は世界戦に出場できることになった。

自転車競技が強い国は、フランスやイタリアなどのヨーロッパ系だ。ヨーロッパでは、自転車はサッカーと同じくらい人気があり、幼い頃からすでに

自転車競技を始めている、という国がほとんどだ。その点、日本では、小さい頃から自転車競技をしている人はほとんどおらず、自転車競技に関して、日本は遅れをとっていると言える。この違いは、試合の結果にも差を生んだ。僕の種目はタイムを計る競技で、とりあえず自己ベストを更新したものの、世界の頂点に立つにはほど遠いタイムだった。しかし、ほかの国々は、次々と世界新記録をたたき出し、同じ人間とは思えないくらい強さに差があった。僕はこの試合で、世界の壁の高さを改めて実感することになった。

僕の世界戦は、あまりいいとは言えない結果に終わった。だが、この経験は自分にとって大きな収穫となった。世界戦のあとに、国民大会があり、僕はこの大会で優勝することができた。世界戦の経験がなければ、優勝することはできなかつたと思う。この貴重な経験を、今後に生かしていければいいと思う。

後輩の活躍

化学工学科3年 西杉 くるみ

平成二十年十一月顧問の先生から、私の作品が推薦に選ばれ全国高等学校総合文化祭(写真部門)に行けることを知らされました。賞には、推薦、特選、入選とあります。その前の年には特選に選ばれ、全国高等学校総合文化祭に行つたことがありました。しかし、

今年は昨年とは喜びがはるかに違っていました。

私は一年生の時、楽そうだからという理由で写真部に入りました。基本的にはあまり好きではなく、適当に活動すればよいと思っていました。入部して少し経つと、周りの友達はやめてしまい、顧問の先生には怒られるばかりでした。そのたびに、何度もやめようと思いましたが。そんな時、私の作品が特選に選ばれたことを知りました。そして、全国高等学校総合文化祭に出展しました。



1度目の全国高等学校総合文化祭

しかし、そのような中途半端な気持ちで活動していたので、とても申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。このことがきっかけとなり、私は写真と向き合おうと思いはじめました。そして、私自身が撮りたい写真を撮ることでもどんどん好きになりました。一つの物でもいろいろな見方ができることや、写真を組み合わせて物語を作る喜びを感じ始めました。この経験を通じて、私の作品が今年推薦に選ばれ全国高等学校総合文化祭に行くことになりました。二度目の全国高等学校総合文化祭で



部活動集合写真(4月)

は、他の人の作品を見て作品に対する思いや、工夫を感じとることが出来ました。また、どの作品も撮る側が楽しんでる作品ばかりでした。この大会から学んだ一番のことは、「写真を撮ることを楽しむ」ということでした。この気持ちは部活動以外の全てのことに言えることだと感じました。

母校である、岡工が楽しむ、頑張る喜びを一層感じられる学校になって欲しいです。

後輩の活躍

2009

□各科の入賞

機械科

- ・第40回機械製図検定 特別表彰 伊丹孝一(機2)
- ・技能検定3級(機械保全) 県知事表彰 安部友哉(機3)
- ・(機械保全) 銀賞 小山葉平(機3)
- ・(機械保全) 銅賞 伊丹孝一(機2)
- ・(旋盤作業) 銀賞 樽角康平(機2)
- ・(旋盤作業) 銅賞 片山勇太(機2)
- ・(旋盤作業) 銅賞 藤本和弥(機2)

土木科

- ・岡山県測量競技会 (平板測量の部) 1位
- ・(水準測量の部) 1位
- ・(中国地区測量技術競技大会(平板測量の部) 準優勝
- ・(水準測量の部) 優勝

化学工学科

- ・甲種危険物取得 2年生 2名
- 1年生 1名

電気科

- ・2010ジャパンマイコンカーラリー中国地区大会 個人の部 4位 坂元洋友(電3)
- 8位 信江克彦(電2)
- 団体の部 2位 (4年連続)
- ・仁科ロボットコンテスト2009 アイディア賞 田中裕士(電2)
- 信江克彦(電2)



電気科 ジャパンマイコンカーラリー中国大会

デザイン科

- ・バイオデザイナーゼル事業 イメージキャラクター 浜家美貴・高森雅利(テ1)
- ・岡山文化観光検定ホスター 最優秀賞 西村麻里(テ2)
- ・全国高校生現代アートビエンナーレ展 大賞 鎌田悠希(テ2)
- ・NHKデジタルティーンズ2009 グランプリ 田口清彩(テ2)
- ・サクワプロジェクト (くらしき作陽大学・セルブ・デザイン科3年による共同開発事業)



デザイン科 バイオデザイナーゼルイメージキャラクター

建築科

- ・第45回岡山県高校工業教育協会 建築系部会設計製図競技会 最優秀賞 森亜加里(建3)
- 優秀賞 飯田紘子(建3)
- ・H21年度『エコ広場UD整備事業 採択チーム名「OKAKO魂」 佐藤正俊(建3)、杉田研夢(建3)、入江剛生(建3)、大森章正(建3)、香西森太郎(建3)、前田大樹(建3)、飯田紘子(建3)、窪田大祐(建1)、横山大将(建1)

情報科

- ・平成21年度 『高校生ものづくりコンテスト(電気系)』 電子回路組立部門 岡山大大会 準優勝 河田浩明(化3)

平成21年度技能検定

- 金賞 近藤雄介(電2)
- 銀賞 石井歩(電2)
- 銅賞 杉山拓祥(電2)
- 銅賞 井上敦子(電2)

□部活動成績

- ・少林寺拳法部 全国高校総体大会予選 (一般男子二段の部) 1位
- (一般女子初段の部) 1位
- ・自転車競技部 全国高校総体大会 (1kmタイム・トライアル) 2位
- (4kmチーム・パシユート) 3位
- ・国民体育大会 新潟県 (1kmタイム・トライアル) 1位
- ・自転車競技ユニオニ世界選手権大会 出場 野上侑也(土3)

陸上競技部

- ・岡山県高校陸上競技選手権大会 (100m) 1位
- (200m) 1位
- (300m) 1位
- (4x100mリレー) 1位
- ・岡山県高校新人陸上競技大会 (三段跳) 1位
- (4x100mリレー) 2位
- ・中国高校新人陸上競技大会 (三段跳) 1位
- (4x100mリレー) 2位

水泳部

- ・岡山県高校新人水泳競技大会 (400m自由形) 1位 大会新
- (200m自由形) 2位
- (100m自由形) 2位

ラグビー部

- ・国民体育大会中国ブロック大会 (少年男子岡山県代表選手5名)

サッカー部

- ・岡山県プリンスリーグ 県2部Bブロック 県1部昇格

ボクシング部

- ・岡山県体育大会岡山県予選 (フライ級) 1位
- (ライト級) 1位

国民体育大会中国ブロック大会

- (ライト級) 1位

卓球部

- ・岡山県高校秋季卓球大会 (男子団体戦) 3位

ハンドボール部

- ・岡山県高校ハンドボール秋季備前地区大会 (男子) 準優勝

バスケットボール部

- ・全国高校バスケットボール選抜優勝大会 岡山県予選 (男子) 3位

バトミントン部

- ・備前支部総体 岡山地区大会 男子学校対抗 2位

柔道部

- ・中国高校柔道大会岡山県予選会 男子73kg級 3位
- 男子90kg級 3位

山岳部

- ・秋季登山大会 踏査 1位

美術部

- ・平成21年高校生美術コンクール 金賞
- 銀賞

写真部

- ・全国高校生総合文化祭出場 三重県 西杉くるみ(化3)

吹奏楽部

- ・岡山県吹奏楽コンクール 小編成の部 銀賞



岡工祭一般公開日(雨あがり快晴に)

編集後記

関係者多数の御協力をいただき、第51号の会報を無事発刊することができました。寄稿いただきました皆様方には、厚くお礼申し上げます。昨年度の二号館耐震工事に引き続き一号館の耐震工事も無事終わり、岡工祭でも展示教室として利用することができました。今年度は、新型インフルエンザの影響で一般公開も危ぶまれましたが、感染の予防対策をすることで従来の公開となりました。岡工祭当日は、一四〇〇人以上の方が来場され生徒・教員一同喜んでおります。今回の会報で紹介させていただきましたが、平成二十三年には百十周年を迎えます。(八十周年・九十周年・百周年につきましては、次回の52号で紹介させていただきます。)百十周年に向けてより充実した会報面にしたいと思っておりますので、各地の話題・会員の動静・同窓会の開催の報告などがありましたらお知らせ下さい。今後ともよろしくご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

ご意見・情報 お問い合わせは...

〒700-0013 岡山市北区伊福町4-3-92 岡山県立岡山工業高等学校

工友会事務局

tel:086-252-5231 fax:086-252-7130 http://www.okako.okayama-c.ed.jp/